

2010年3月期

第2四半期

決算説明会

代表取締役社長
芳井 順一

2009年11月12日

注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。将来の予測等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって、実際の業績等は予想値とは異なる結果となる可能性があります。

また、医薬品に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

決算の概況(連結)

(百万円)

	計画	当第2Q	計画比		前同比	
			金額	増減率	金額	伸長率
売上高	44,500	44,522	22	0.0%	103	0.2%
営業利益	8,200	8,961	761	9.3%	1,317	17.2%
経常利益	8,300	8,851	551	6.6%	1,059	13.6%
当期純利益	4,800	5,111	311	6.5%	78	1.6%

	計画	当第2Q	前第2Q
営業利益率	18.4%	20.1%	17.2%

・営業利益率は20%超

	計画	当第2Q	前第2Q
中間配当 <small>(1株当たり配当金)</small>	20円	23円	17円

・計画比 3円増額

医療用漢方製剤(129品目)【実売】数量の伸長率

「実力値」・・・実売・数量ベースの伸長率に変動要因を加味した数字

設備投資等の観点から、正味の実力値である実売・数量ベースのトレンドを見極めなければならない。そのために、変動要因を加味して、常に数字(実力値)を把握している。

年度	2002-2006 5年平均	2007	2008	当第2Q (上期)
数量伸長率	7.3%	8.8%	11.6%	9.7%

変動要因	-	・前年4月にリバウンド ・3月に買控	・4月にリバウンド ・かぜ・花粉症の流行	・前年4月にリバウンド ・上期インフルエンザ流行
------	---	-----------------------	-------------------------	-----------------------------

実力値 (数量伸長率)	7.1%	9.7%	10.2%	10.0%
----------------	------	------	-------	-------

実力値は10%となり、トレンドに変化は無く、引続き堅調に推移していると分析

2010年3月期 通期業績予想

(百万円)

	当初計画	修正計画	当初計画 との差異	前年実績	修正計画 前年実績 比較増減
売上高	92,300	92,600	300	90,016	2.9%
営業利益	19,100	20,000	900	16,483	21.3%
経常利益	19,300	20,000	700	16,622	20.3%
当期純利益	11,300	11,600	300	10,777	7.6%

	当初計画	修正計画	前年実績
営業利益率	20.7%	21.6%	18.3%

・営業利益率は21.6%

期末配当	20円	23円	17円
年間配当	40円	46円	34円

・前年比 12円増額

(1株当たり配当金)

育薬3処方 通期売上計画【出荷】

通期 売上計画

(百万円)

	当初計画	修正計画	当初計画 との差異	前年実績	修正計画 前年実績 比較増減
大建中湯	7,500	7,500	0	6,717	11.7%
六君子湯	4,400	4,500	100	3,675	22.4%
抑肝散	3,000	3,400	400	2,021	68.2%
3処方合計	14,900	15,400	500	12,414	24.0%

上期の実績を踏まえ、3処方合計の年間売上高を5億円上方修正。

育薬3処方 3ヵ年売上計画【出荷】

当初計画 《中期経営計画発表（本年5月）時点での計画》

計画を上回るペースで推移している

2010、2011年度については修正していないが、年度終了時点で連結売上高と合わせて見直す予定

（百万円）

	2009年度 計画	対前年 伸長率	2010年度 計画	対前年 伸長率	2011年度 計画	対前年 伸長率
大建中湯	7,500	11.7%	8,000	6.7%	9,000	12.5%
六君子湯	4,400	19.7%	5,000	13.6%	6,000	20.0%
抑肝散	3,000	48.4%	4,000	33.3%	5,000	25.0%
3処方合計	14,900	20.0%	17,000	14.1%	20,000	17.6%

154億円に修正

薬価改定の年度

育薬追加処方 - 1 牛車腎気丸(ゴシヤジンキガン)

売上高 32.43億円(2008年度実績)



【ターゲット】

オキサリプラチンによる「しびれ」

【背景】

大腸がんの化学治療は、オキサリプラチンを組み入れた治療が、世界標準となりつつある。一方、その治療に伴う末梢神経障害(しびれ等)が、オキサリプラチンの継続投与を困難にさせている。

【臨床・基礎研究】

大学医学部等において各種臨床・基礎研究が進められている。

< 論文 >

オキサリプラチンの末梢神経障害に対する予防効果(旭川医科大学) < in press >

eCAM: Evidence-based Complementary and Alternative Medicine(オックスフォード大学の学術誌)

育薬追加処方 - 2 半夏瀉心湯 (ハンゲシャシントウ)

売上高 7.58億円(2008年度実績)



【ターゲット】

イリノテカンによる「下痢」

【背景】

肺がん治療等に用いられるイリノテカンは、下痢等の粘膜障害を引き起こす。死亡に至るような下痢の発生もあり、その防止が求められている。

【臨床・基礎研究】

大学医学部等において各種臨床・基礎研究が進められている。

大建中湯 臨床薬理試験(米国)

項目	内容
試験概要	健常人における胃、小腸および結腸の輸送時間に及ぼす大建中湯の効果ならびに、用量反応性の検討
実施医療機関	メイヨー・クリニック
試験デザイン	ランダム化された二重盲検群間比較薬力学試験
登録被験者数	60症例
投与群	プラセボ投与群、7.5g投与群、15.0g投与群
エントリー状況	2009年6月 開始 11月中 被験者登録終了

大建中湯 開発スケジュール(米国)

項目	年度	2007 ~ 2008	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
忍容性試験 24症例		■									
臨床薬理(健常人) 60症例			■								
臨床薬理(患者) 60症例程度				■							
臨床薬理(術後患者)				■							
副作用発生頻度調査 (日本国内)3,000症例程度				■	■						
Late P						■	■				
P 大規模									■	■	■

(審査期間) →

新たな基本基調

経営理念

自然と健康を科学する

基本基調

社会や人々のお役に立てる企業
人に優しい企業

活動目標

漢方医学と西洋医学の融合により
世界で類のない最高の医療提供に貢献します

循環の「仕組み」

<生薬残さの再利用>

肥料化の検討

4ヶ所にて検討中 (中国2ヶ所)
(日本2ヶ所)

バイオエタノール精製の検討



精製後の残さ

火力発電の燃料への再々利用



北海道における生薬事業

株式会社 夕張ツムラ

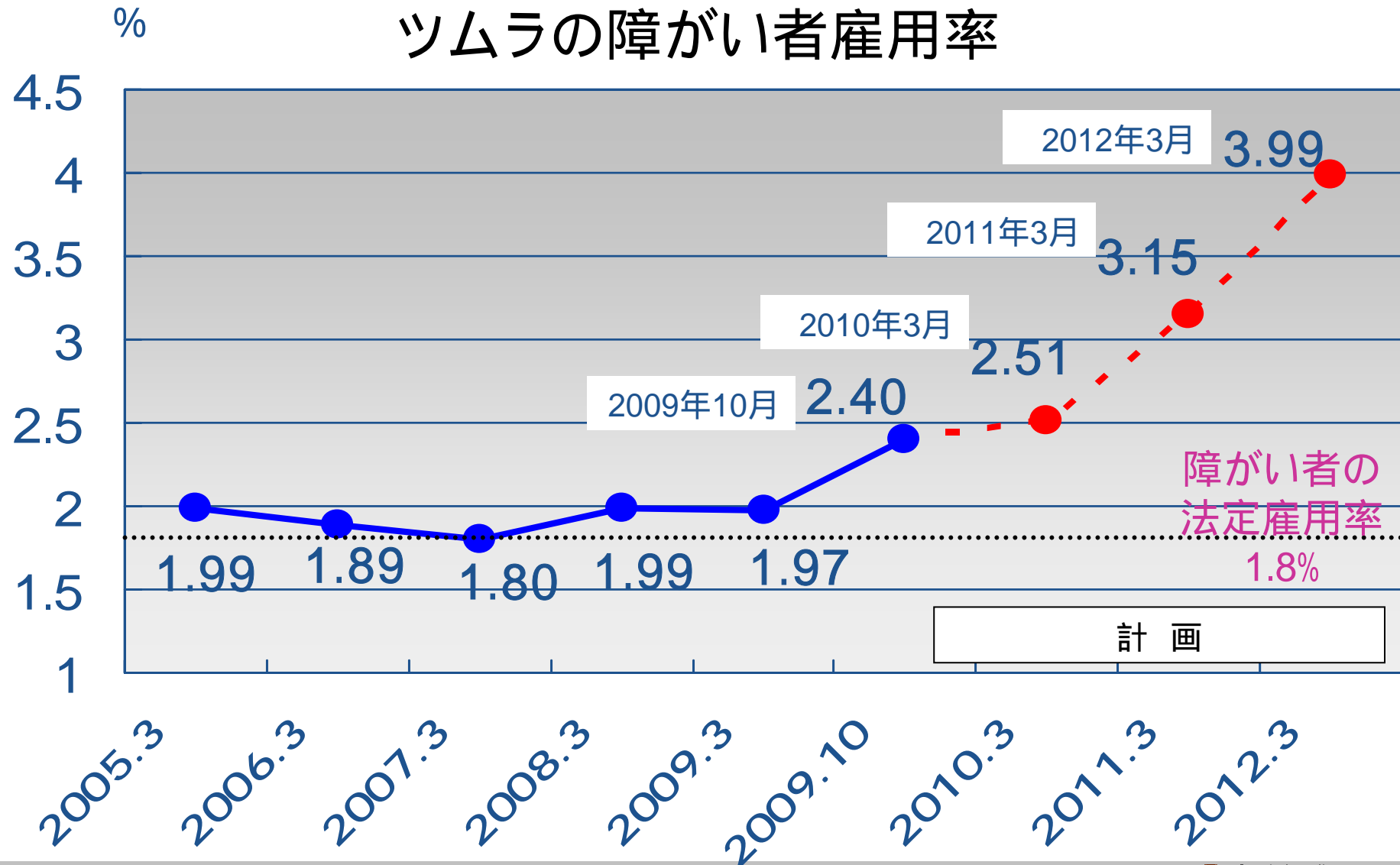
2009年 7月	・会社設立 (資本金:30百万円) ・事務所開設(夕張市民会館内)
10月	・自社農場における生薬栽培開始(センキュウ)
2010年10月	・生薬加工場、保管倉庫および事務所の竣工予定

障がいを持たれている方にとって
働きやすい環境
加工場のバリアフリー化等

	現在	10年以内
栽培面積(北海道)	70ha	1,000ha
生産量(北海道)	300t	2,000t
雇 用(夕張)	最大延べ200名	
総投資額(夕張)	約60億円	

<3ヵ年では15億円の投資を予定>
2009年度(5億円)、2010年度(10億円)

障がい者雇用 3カ年計画

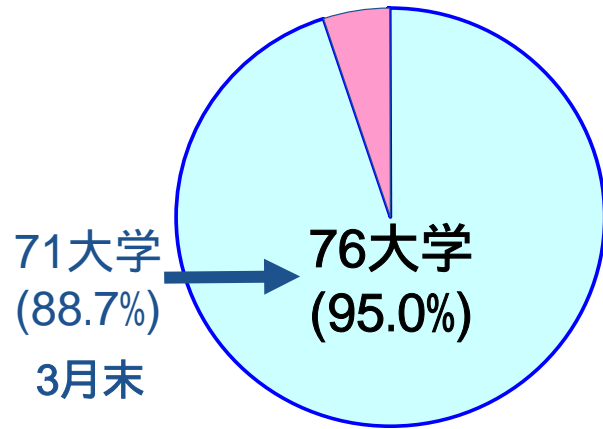


参 考 情 報

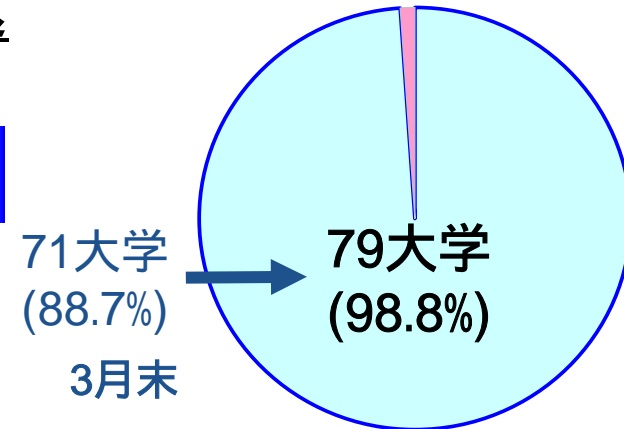
漢方医学の確立

今年度の見込

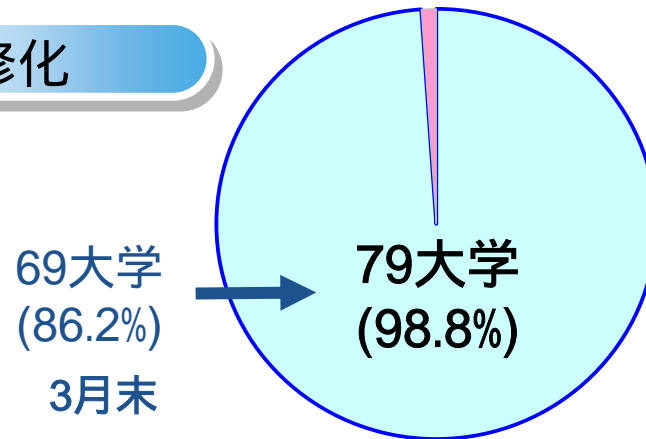
支援



8コマ以上必修化



大学主催の講師育成制度



漢方外来の設置

米国消化器病週間 (DDW) DIGESTIVE DISEASE WEEK

年度	開催地	内 容
2009	シカゴ	大建中湯: 3演題(基礎3) 六君子湯: 10演題(基礎7・臨床3)
2008	サンディエゴ	六君子湯: 8題(基礎5・臨床3)
2007	ワシントンD.C.	六君子湯: 2題(基礎2)、大建中湯: 1題(基礎1)
2006	ロサンゼルス	六君子湯: 3題(基礎1・臨床2) 大建中湯: 2題(基礎2)、茵陳蒿湯: 1題(基礎1)

2008年度 六君子湯	
グレリン(老化モデル)	北海道大学
グレリン(悪液質モデル)	鹿児島大学
グレリン(消化管運動)	鹿児島大学
グレリン(中枢)	埼玉医科大学
GERD	兵庫医科大学
咽喉頭酸逆流症(LPRD)	北海道大学
SNRI副作用軽減	産業医科大学
機能性胃腸症(FD)	川崎医科大学

2009年度 六君子湯	
グレリン(ストレス)	北海道大学(基礎2演題)
グレリン(消化管運動)	鹿児島大学(基礎1演題)
グレリン(中枢)	埼玉医科大学総合医療C(基礎2演題)
グレリン	埼玉医科大学総合医療C(臨床1演題)
GERD関連	兵庫医科大学(基礎1演題) 滋賀医科大学(基礎1演題) 千葉大学(臨床2演題)

大建中湯 万国外科学会

漢方に関するランチョンセミナー開催

“代替医療からの脱出”

“ Parting Ways with Complementary and Alternative Medicine ”

開催日: 2009年9月8日(火)

開催場所: オーストラリア アデレード

コンベンションセンター

座長: 北島 政樹 先生(国際医療福祉大学 学長)

演者: 河野 透 先生(旭川医科大学 准教授)

島田 光生 先生(徳島大学 教授)



大建中湯 米国外科学会誌

「SURGERY」巻頭言に漢方の総説掲載

“ついに到来？

漢方が試みる補完代替医療からの脱出”

Exodus of Kampo, traditional Japanese medicine,
from the complementary and alternative medicines
Is it time yet?

SURGERY誌 146巻5号837-840頁に掲載

著者:河野 透 先生(旭川医科大学 准教授)

兼松 隆之 先生(長崎大学 教授)

北島 政樹 先生(国際医療福祉大学 学長)



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ツムラ
コーポレート・コミュニケーション室
IR推進グループ

TEL:03-6361-7101